

## 第3回 HIV感染症患者の療養支援に関する 心理職とMSWの協働シンポジウム

# エイズ治療拠点病院における 先駆的連携活動の実際

HIV 感染症患者の長期療養を支えるため、全国のエイズ治療拠点病院では地域連携を推進しています。エイズ予防指針においてもチーム医療の重要性が強調されており、HIV 診療チームの心理職と医療ソーシャルワーカーには、それぞれの専門性を活かした連携・協働を通じて、包括的な心理社会的支援体制を構築することが求められています。こうした背景を踏まえ、エイズ治療拠点病院における心理職とMSWの連携・協働をテーマとしたシンポジウムを企画しました。

第3回は、**外国人HIV陽性者への支援事例を通して、言語や文化の違いに伴う支援上の課題**を共有するとともに、心理職とMSWがそれぞれの専門性を活かし、多職種と協働しながら患者を支えるために**必要な連携とコーディネーションのあり方**について検討します。  
ぜひご参加ください。

### 日時

令和 8 年

12月17日 木 18:00~19:10

### 方法

ZOOMによるオンライン  
事前申し込み(先着150名)

<https://forms.gle/P3QWe3vRRinfuLDi8>  
あるいはQRコードから



締切：12月8日 火 正午

\* 個人情報は運営管理の目的以外に使用しません。

### プログラム

進行 三嶋 一輝 医療ソーシャルワーカー  
(福井大学医学部附属病院)

高村 佳幸 臨床心理士 (順天堂医院)

開会挨拶 湯永 博之 「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班 研究代表者  
(国立健康危機管理研究機構  
国立国際医療センター エイズ治療・  
研究開発センター センター長)

### シンポジウム

講演 外国人HIV陽性者支援における留意点

宮島 謙介 エイズ専門相談員  
(東京都保健医療局感染症対策部防疫課)

事例提供者 重信 英子 医療ソーシャルワーカー  
(広島大学病院)

喜花 伸子 臨床心理士  
(広島大学病院)

### 総合討論

閉会挨拶 木村 聡太 心理療法士 (国立健康危機管理研究機構  
国立国際医療センター エイズ治療・  
研究開発センター)

主催

厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業  
HIV感染症の医療体制整備に関する研究  
研究分担者：三嶋一輝「Nsとの協働による要介護・  
要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

後援

公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会  
一般社団法人 日本臨床心理士会  
公益社団法人 日本公認心理師協会

協力

非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の  
構築に関する患者参加型研究  
研究分担者：木村聡太「サブテーマ3 神経認知障害・心理 非加熱血液凝固因子  
製剤によるHIV感染血友病等患者のメンタルヘルスと心理支援に関する研究」

### 問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部 三嶋 一輝  
TEL 0776-61-8645 (平日 9:00 - 17:00) ※当日 TEL 080-2966-7362